

下野市立吉田東小学校



1 学校課題

主体的に表現し、伝え合う児童・生徒の育成
～考えをつなぐ力の育成を目指して～

2 研究計画

(1) 主題設定の理由

本校では、主に英語活動・外国語活動・外国語科を通して児童のコミュニケーション能力の育成を目指し、研究を重ねてきた。特に、児童が主体的に表現し、相互の意思疎通を図る能力を育てることを研究主題に設定し、取り組んできた。昨年度までの研究により、児童の「話すこと」「聞くこと」への意識が高まった。特に、相手をしっかり見て反応しながら聞くことができるようになってきた。また、発言をした際、聞き手の反応を見て言い方を工夫したり、別の言葉で言い換えたりする工夫が徐々に見られるようになってきた。しかし、教師を介さずに児童同士で発言をつなぎ、話し合いを深めていくことは難しく、課題が残った。

今年度は、昨年度までに培ってきた力をベースに、児童同士で互いの考えを「つなぐ」力の育成を中心に進めていく。発表の内容や表現の仕方を補い合ったり言い換えたりする活動を通して、自分の発言の精度を高めさせていく。そのために、教師はどのように児童と関わり、児童同士の「つなぐ」をコーディネートしていくかを研究の要としたい。

(2) 研究の仮説

児童同士をつなぐ教師のコーディネート力の向上や児童が夢中になる課題設定により、児童が主体的に話し合い活動に参加し、互いの考えをつなぐ能力が向上するであろう。

3 研究内容

(1) 教科指導等を通した主題への取組

実践① 個と個をつなぐ教師のコーディネート力の向上 (今年度の重点)

児童同士が主体的に意見を交わし、深まりのある話し合い活動ができるようにするために、児童と児童の意見をつなぐ教師のコーディネートスキルの向上を図った。

ア 児童がお互いの発言内容や表現の仕方を補い合ったり、言い換えたりする活動の活性化

イ 児童の発言を広げる工夫

(学習形態の工夫、発言を補い合える学級の雰囲気作り、教師の立ち位置の工夫等)

ウ 「目指す子どもの姿」をもとにした系統的な指導と意識化

(「目指す子どもの姿」の児童との共有、視点を明確にした研究授業の実施等)

目指す子どもの姿	主体的に表現し、伝え合う児童	
1・2年生	3・4年生	5・6年生
<ul style="list-style-type: none"> ・「しっかり聞いてくれているな」と、話し手に伝わるような聞き方ができる。(相手をしっかり見て) ・相手の発言を受けて、話をつなぐことができる。 ・相手と自分の考えを比較して、意見を言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「しっかり聞いてくれているな」と、話し手に伝わるような聞き方ができる。(相手をしっかり見て・リアクション) ・教師を介さず、互いの意見の共通点、相違点を考えながら、意見を述べるができる。 ・相手の反応を見て、より聞き手に伝わるように話し方を工夫できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「しっかり聞いてくれているな」と、話し手に伝わるような聞き方ができる。(相手をしっかり見て・リアクション) ・教師を介さず、互いの意見を比較、分類しながら意見を述べ、考えを広げたりまとめたりできる。 ・相手の反応を見て、より聞き手に伝わるように工夫して話ができる。(例、写真、図の提示) ・複数の意見から必要な情報をまとめ、解決に導くことができる。

実践② 児童が夢中になる課題と話し合い活動の場面の設定

児童全員が積極的に自分の考えを述べ、多様な考えのもと、深まりのある話し合い活動が展開できるようにするために、課題の内容や提示の仕方を工夫した。

ア 児童が目的意識・相手意識をもつことができる活動の設定

イ フィードバックによる目標達成に向けた軌道修正の機会の充実



(2) 研究授業を通じた主題への取組

月日	学年	単元名	課題追究のための手立て等
6/23	5年	外国語「I can run fast. クラスのみんなの『できること』を集めよう」	①児童が目的意識・相手意識をもって活動できるように単元のゴールを工夫した。 ②活動を録画し、自分たちのコミュニケーションの様子を客観的に振り返り、改善する時間を設定した。
9/15	3年	国語「山小屋で三日間すごすなら」	①話し合いの際、付箋やホワイトボードなどを用いることで多様な考えを引き出すことができる場を設定した。 ②グループごとに話し合いを振り返り、より良い話し合いになるように助言し合ったり、改善したりする時間を設定した。
11/24	1年	英語活動「Animals 動物を集めて、自分だけの動物園を作ろう」	①意欲的にやり取りができるよう、動物カードの種類を意図的に増やした。(大人と子ども、色違いなど) ②英語での言い方を確認する振り返りの時間を設定した。
11/26	6年	国語「みんなで楽しく過ごすために」	①互いの意見を比較し、共通点や相違点、利点や問題点を考えさせることで、多数決のみに頼らない意見の集約の仕方の指導を工夫した。 ②話し合いを録音し、自分たちの話し合いを客観的に振り返り、改善する時間を設定した。

4 本年度の成果と課題

(1) 成果

教師の指導力の向上

児童同士の発言をつなぎ、児童主体の話し合い活動をコーディネートしようという教師の意識が高まった。授業の中で、児童の発言を教師が復唱するのではなく、他の児童が言い換え、補い合うような場を設定するなど、指導の工夫が見られた。また、授業研究会等を通して、指導の工夫を共有することにより、指導力向上に繋がった。



児童の表現力の向上

児童が相手に自分の伝えたいことがより伝わるよう、伝え方を工夫・改善する姿が見られるようになった。活動の途中で、自分の姿(やり取り、発表、話し合い等)を振り返り、さらに良い活動になるよう自分の考えを再構築する場を設定した。また、学級全体で良いモデルとなる児童の姿を共有することで、本校の「目指す子どもの姿」を児童と共有することができた。

(2) 課題

児童同士で話し合いを深める手立ての充実

教師を介して、児童の話し合いが進む場面が多く見られる。教師の介入の機会が減っても、児童同士で発言をつなぎ、深まりのある話し合い活動ができるよう、話し合いの課題の設定、目的の明確化、教師の支援等をさらに工夫していきたい。

